

2024 年度事業実施報告

<組織の現状と課題>

会員登録数は950名(2025年3月31日現在)と1,000人を割りました。加盟団体協会は2024年9月に美唄ろうあ協会が解散し、23団体となりました。高齢化、逝去、会員それぞれの事情による退会、若年層の入会が少ない現状にあります。四ブロック(道南・道央・道北・道東)の研修は道央と道東が実施しています。加盟団体協会とブロック体制の見直しをしていくと同時に会員拡大と後継者育成を継続運動として取り組んでいきます。

<大会、研修会等の実施状況>

全て予定通り実施できました。詳細は各事業報告を参照してください。

<北海道聴覚障がい者情報センター事業と課題>

手話通訳者設置事業、手話通訳者養成・派遣事業、要約筆記者養成・派遣事業、ビデオライブラリー事業、相談事業、災害対策など聴覚障害者が安心して暮らせるための事業、人材育成に取り組んできました。

設置手話通訳者は、胆振・根室を除く12振興局に設置されています。2～3年後には数名の手話通訳者が定年退職となり、後任者の確保が必要になります。また、高齢化の課題は、若年層の手話通訳者育成及び地域の通訳者育成に力を入れることが求められています。

<法制定と連携取り組み>

改正された障害者差別解消法によって、2024年4月から事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化され、障害のある人もない人も共に生きる社会(共生社会)を目指しています。2024年4月1日以降、北海道知事から道職員への訓示の場に初めて手話通訳者がつきました。

各イベント、行事などへの手話通訳依頼が増え、合理的配慮が広がるよう「手話を広める北海道議会議員連盟」とも連携しながら、こうした課題に取り組んでいきます。

【公益目的事業】

I 意思疎通支援に関する事業

1. 手話通訳者等の設置・派遣

聴覚障害者等とその他の者との意思疎通を支援するため手話通訳者を設置・派遣した。

(1) 手話通訳事業

①手話通訳者設置事業(北海道補助事業)

②コミュニケーション支援事業(市町村委託事業)

③手話通訳者派遣事業(一部北海道委託事業)を行っています。

今年度の派遣状況は 1,030 件 1,591 人。

全体の派遣比率は市町村支援に関する内容が 58%を占めています。

派遣分野では、医療が 58%近くを占め、介護支援なども増えています。

障害者差別解消法改正により、合理的配慮による民間団体や企業からの依頼も増えております。派遣を担っている登録通訳者の推移は少しずつ増えているものの地元推薦者(資格なし)も多くいます。日中活動できる登録通訳者が限られているため、設置通訳者が出向かなければならない地域が多く存在しています。

(2)【手話通訳派遣実績】

2025 年 3 月 25 日現在

	2022 年	2023 年	2024 年
派遣件数	1,025	1,122	1,030
派遣人数	1,445	1,557	1,591

(3)【地域(振興局)通訳派遣人数】

(単位:人)

2025 年 3 月 25 日現在

振興局名	道派遣・道設置	市町村派遣	センター派遣	小計
情報センター	1	0	184	185
石 狩	44	5	74	123
渡 島	6	12	56	74
檜 山	3	40	0	43
後 志	3	60	37	100
空 知	0	82	12	94
上 川	5	199	32	236
留 萌	0	15	0	15
宗 谷	0	75	2	77
オホーツク	4	143	12	159
胆 振	36	6	37	79

日 高	8	128	4	140
十 勝	8	83	21	112
釧 路	12	40	1	53
根 室	3	64	9	76
合 計	133	952	481	1,566

(4) 2024 年度北海道ろうあ連盟北海道手話通訳派遣センター登録手話通訳者:395 名

①【性別構成】

男 性	45 名	女 性	350 名
-----	------	-----	-------

②【地域(振興局)構成】

(単位:名)

石狩	111	後志	25	留萌	5	胆振	34	釧路	23
渡島	33	空知	40	宗谷	8	日高	7	根室	8
檜山	4	上川	48	オホーツク	15	十勝	34		

③【資格構成】

(単位:名)

手話通訳士	88	北ろう連上級	2	北ろう連1級	6
全国統一試験	201	北ろう連中級	3	北ろう連2級	31
全日ろう連認定	1	北ろう連初級	12	団体推薦	51

④【年齢構成】

(単位:名)

20 代	20～24	0	6	60 代	60～64	82	143
	25～29	6			65～69	61	
30 代	30～34	3	11	70 代	70～74	43	48
	35～39	8			75～79	5	
40 代	40～44	22	66	80 代	80～84	2	2
	45～49	44			85～89	0	
50 代	50～54	54	119	※平均年齢:57.9 歳			
	55～59	65					

2024 年度の内訳は上記の通り、平均年齢は今のところ横ばいであり、地域での養成が急務です。登録者へ向けての研修(技術や理論)は各地域年3回行っております。

派遣センター職員は12振興局に1名ずつ設置通訳者として配置されています。
来庁者対応や、派遣コーディネーターが主ではありますが、地域の業務のほかに3チーム(派遣・養成・統計)に分かれて業務分担をしています。設置通訳者が不在の 2 振興局については、他地域の派遣センター職員が、代行業務を行っています。
派遣センター後志(胆振代行兼務)・派遣センター釧路(根室代行兼務)
(2024 年度 根室振興局・中標津社会福祉事務出張所は臨時職員が来庁者対応を行っている)

2. 手話通訳業務区分年間一覧

【手話通訳業務】

区 分	2022 年	2023 年	2024 年
保健・福祉・医療	166	246	304
教育・保育	18	20	28
労 働	37	46	35
人間関係	9	4	8
社会経済・契約・官公庁手続き	116	153	162
スポーツ・文化・教養等	6	22	38
司法・権利等	1	14	0

【手話以外の業務】

区 分	2022 年	2023 年	2024 年
コーディネートに関すること	664	713	736
コーディネートに関すること(市町村支援)	844	827	848
自らの通訳事務に関すること	402	441	574
相談支援に関すること	172	153	139
相談支援に関すること(市町村支援)	190	156	204
指導育成に関すること	500	550	822
指導育成に関すること(市町村支援)	39	32	11
会議に関すること	70	117	126
研修(自己研鑽)に関すること	874	765	668
事務(報告等事務)	1,751	1574	1,696
事務(契約・登録等事務)	120	84	126
そ の 他	1,175	902	187

振興局に配置されている派遣センター職員は、手話通訳派遣に関するコーディネート業務、手話通訳の他、登録員研修への取り組み、地域協会やサークル、通研との連携、ろうあ者相談員の不在地域では各種相談、電話通訳、代筆・代読など生活にかかわる支援も担っている地域もあります。また地域自治体(市町村)とのパイプ役を担い派遣や養成に關してのアドバイスを行っています。

北海道手話言語条例に基づき、道職員を対象とした手話に関する啓発や研修を実施しました。全職員が札幌に集合し、職員研修を5回(2月はオンライン開催)、職員会議を1回(オンライン)開催しました。

【職員研修】

- ・第1回 5月22～23日
- ・第2回 7月24～25日
- ・第3回 10月9日
- ・第4回 12月18～19日

- ・第5回 2025年2月19日 Zoom研修(ホスト:情報センター)
- ※第1、2、4回では、職員対象のスキルアップ研修を実施(2～3時間)
- ・職員会議 2025年3月17日 Zoom研修(ホスト:情報センター)

派遣チーム	養成チーム	統計チーム
・全道ろうあ者夏季体育大会・全道ろうあ者大会通訳配置に伴う調整・連絡と事後の振り返り、まとめ等 ・派遣事例の集約と共有・相談等	・登録通訳者への現任研修の企画立案と事後の振り返り、まとめ等 ・職員対象のスキルアップ研修企画立案と事後の振り返り、まとめ等 ・その他、養成に関する事等	・手話通訳派遣実績、月間、年間集計精査分析等 ・広域派遣実績精査等 ・月間活動報告書精査等

【知事会見 手話通訳派遣】

北海道知事定例記者会見に手話通訳を派遣

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	3	4	2	2	4	5	2	4	3	2	39

(単位:件)

3. 遠隔手話通訳事業

【契約市町】

- 空知(3) ……深川市、赤平市、栗山町
 - 石狩(1) ……当別町
 - 後志(2) ……余市町、仁木町
 - 胆振(2) ……白老町、洞爺湖町
 - 日高(1) ……新ひだか町
 - 渡島(1) ……七飯町
 - 上川(2) ……東川町、当麻町
 - 宗谷(1) ……稚内市
 - オホーツク(2) ……網走市、美幌町
 - 十勝(3) ……音更町、陸別町、足寄町
- 計 18 市町 (前年度 18 市町)

【通訳実績】

- 2町(音更町・当麻町)
- 通訳件数等 3件(音更町1・当麻町2)

4. 専任手話通訳者会議開催(通称 ネットワーク会議)

管内の手話通訳者同士が情報共有を行い、より良い通訳現場の環境整備・コーディネート力・専任手話通訳者の悩みなど諸般の課題解決に向け取り組み、専任手話通訳者のスキルアップ追求の一助を道・市町村・振興局・北海道手話通訳派遣センターと共に行っている。

(1)胆振管内専任手話通訳者会議(北ろう連主催)

- ・第1回 苫小牧市 6月12日 ・第2回 登別市 9月11日
- ・第3回 室蘭市 12月11日 ・第4回 伊達市 2025年3月13日

(2)石狩振興局地区専任手話通訳者連絡会議(石狩振興局主催)

- ・第1回 振興局 5月15日 ・第2回 千歳市 7月17日
- ・第3回 石狩市 9月18日 ・第4回 札幌市 11月20日
- ・第5回 北広島市 2025年1月15日 ・第6回 江別市 2025年3月19日

5. 北海道登録要約筆記者派遣事業

(1)北海道要約筆記者登録者

手書き 43名／パソコン 23名／手書き・パソコン 13名 合計 79名

※2024年度全国統一要約筆記者認定試験合格者を含む(2025.3.31現在)

区 分		登録者 数	登 録 種 別		
			手書き	パソコン	手書き・パソコ ン
政令市 中核市	札幌市	24	13	7	4
	旭川市	7	3		4
	函館市	3	3		
道外 ※1		4		4	
振 興 局 別	石狩	17	13	4	
	渡島	3	3		
	檜山				
	後志				
	空知	2	1		1
	上川	3	1	1	1
	留萌				
	宗谷				
	オホーツク	3	1	1	1
	胆振	6	3	2	1
	日高				
	十勝	4	2	2	
	釧路	3		2	1
	根室				
合 計		79	43	23	13

※1 道外に転居した方の内、遠隔要約筆記の対応が可能な場合は北海道への登録を継続していただいています。

(2) 北海道要約筆記者派遣 実績(道派遣)

・派遣件数 9件 派遣人数 28 名

【内容】聴覚障害・身体障害者団体の大会・行事等

(3) 北海道要約筆記者派遣センター 実績(連盟事業) ……新規

北海道の公的派遣に適合しない、主に民間からの依頼に対応する派遣センターの運営を開始。

派遣は(2)同様の有資格者が担う。

・派遣件数 7件 派遣人数 23 名

【内容】民間団体主催の会議・研修、自治体からの依頼等

Ⅱ 意思疎通支援者の養成

聴覚障害者のコミュニケーションの人的基盤となる手話通訳者・手話通訳士を養成した。

1. 手話通訳者養成講座の開催(北海道委託事業)

【2024 年度手話通訳者養成講座】

目 的:手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進に資する

日 時:4 月 13 日～11 月 10 日 月 1 回(土・日)、7・10 月は月 2 回(80 講座)

会 場:札幌会場:道立道民活動センター(かでる 2.7)

網走会場:網走市北コミュニティセンター

内 容:手話通訳者としての専門的な知識・技術の習得

テキスト 手話通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

対象者:北海道の委託を受けて手話奉仕員養成カリキュラムを修了した者もしくは修了と同等の知識・技量を有すると認められたもの

札幌会場:受講生 13 名 修了者 12 名 (合格者 3 名)

網走会場:受講生 13 名 修了者 12 名 (合格者 5 名)

統一試験合格者 8 名

各自治体における手話通訳者養成講座等受講経費助成事業 一覧表

2023.1.12 現在

自治体	助成対象者	助成内容		交付申請	助成申請時期	受付担	備 考
函館市	函館市の手話通訳者登録員・要約筆記者	交通費	指定席往復割引料金	助成事業登録書	講座終了後	函館市障がい福祉課	
	手話通訳者登録員面接試験の意思を有する者		1/2	助成費支給申請書			
	これまでに助成金交付を受けていない者	宿泊料	上限あり1/2	道養成講座修了証			
	手話通訳者養成講師			領収書の写し			

室蘭市	室蘭市の手話協力員又は登録予定者・要約筆記者 道養成講座を胆振管外で受講した修了者 これまでに助成金交付を受けていない 室蘭市民であること	予算内であることが基準(1～2名)		交付申請書	講座終了後	室蘭市障がい福祉課	手話言語条例制定
		交通費	1/2(実費)	道養成講座修了証			
		宿泊料	市長判断	領収書の写し			
登別市	(障害者社会参加等促進事業内奉仕員養成研修事業) 登別市住民で18才以上 障害者団体より推薦を受けた者	予算内であることが前提		交付申請書	講座前申請	登別市障がい福祉グループ	手話言語条例制定
		交通費	100%	交付申請額算出調書			
		宿泊料	支給	事業計画実績・事業予算書			
		資料代	支給	実績報告書			
小樽市	小樽市内に在住する手話通訳者登録員	助成金	手話通訳士(8万円) 手話通訳者全国統一試験(2万円)	交付申請書	試験合格後申請	小樽市障がい福祉グループ	手話言語条例制定
倶知安町	倶知安町に住所を有するもの 倶知安町の手話通訳者として登録する意思のある者 町税に滞納の無い者	予算内であることが前提		交付申請書様式1(事前申請)	様式1(事前申請)	倶知安町福祉医療課	2021/3/31交付
		交通費	100%	交付申請書様式3(終了後申請)	様式3(終了後申請)		
		宿泊料	旅費規程上限(9,000円)	領収書の写し			
赤平市	「赤平手話の会」の会員であること	予算内であることが前提		赤平市より赤平手話の会へ手話学習研修費補助を行い、研修費補助内より赤平手話の会が管理支給決定とする。		赤平市社会福祉課地域福祉係	2019年から手話言語条例制定
		1人の場合	宿泊・交通費支給、資料代適時				
		複数の場合	予算内にて適時支給				
恵庭市	恵庭市に住所を有するもの 恵庭市の手話通訳者として登録し道養成講座を年度内に修了した者 これまでに助成金交付を受けてない者	交通費	1/2(実費)	経費助成申請書 道養成講座修了証 領収書等の写し	講座終了後	恵庭市保健福祉部障がい福祉課	2021/4/1より適用
		書籍代	1/2(実費)				

* 申請については受付担当課による確認が必要となる。

* 交通費(公共交通機関に限る)

(参考)

福祉人材育成事業補助金交付制度(手話通訳士対応)

新得町	既に町内の福祉事業所に就労していない者で、研修等終了後1年以内に町内の福祉事業所(公立を含む。)に勤務すること。ただし、公務員正規採用除く	予算内であることが基準で10万円まで		試験・講座案内資料		新得町保険福祉課福祉係	手話言語条例制定
		交通費	50km以上対象(1/2支給)	受験申込書写し			
		受験・受講料	支給(1/2)	健康保険証写し			
		資料代	支給(1/2)				

2. 現任(登録)手話通訳者研修会の開催

手話通訳者として北海道手話通訳派遣センターに登録されている者を対象として、その知識・技術の維持・向上を図る研修会を開催した。(年3回:全道各地で開催)

(開催内容)

2024年度 第1回北海道手話通訳者現任研修会開催一覧

	振興局	開催地	開催日	開催時間	会 場 名	参加 対象 人数	参加 人数
1	石 狩	札幌市	5月25日(土)	9:15～11:15	かでの2・7	109	25
2	渡 島	函館市	7月28日(日)	13:00～16:00	函館市総合福祉センター	32	17
3	檜 山	今金町	6月22日(土)	10:00～13:00	今金町民センター	3	2
4	後 志	余市町	5月25日(土)	13:00～16:00	余市図書館	25	7
5	空 知	岩見沢市	5月25日(土)	9:00～12:00	岩見沢広域総合福祉センター	38	11
		滝川市	6月8日(土)	13:30～16:30	滝川市まちづくりセンター「みんくる」		6
6	上 川	富良野市	7月8日(土)	13:30～16:30	富良野文化会館	47	4
		名寄市	6月18日(日)	13:30～16:30	名寄市総合福祉センター		4
		旭川市	7月9日(日)	13:30～16:30	旭川市障害福祉センター おびった		22
7	留 萌	留萌市	6月14日(金)	18:00～21:00	留萌中央公民館	4	2
8	宗 谷 ※	稚内市	7月27日(土)	13:30～16:30	キタカラ 地域交流センター	7	6
9	オホーツク	北見市	6月23日(日)	9:30～12:40	北見市西地区公民館	14	10
10	胆 振 ※	室蘭市	5月11日(土)	13:30～16:30	室蘭市障がい者福祉総合センター	33	14
		苫小牧市	5月12日(日)	13:00～16:00	苫小牧市民活動センター		7
11	日 高 ※	新ひだか町	7月6日(土)	13:00～16:00	地域交流センター・ピュアプラザ	6	5
12	十 勝	帯広市	6月16日(土)	13:00～16:00	帯広市グリーンプラザ	33	16
13	釧 路	釧路市	4月28日(日)	9:30～12:45	釧路市中部地区コミセンコアかがやき	22	12
14	根 室 ※	根室市	4月27日(土)	9:40～13:10	中標津町総合福祉センタープラット	8	5
※指導対応職員 ・空知:次長 ・宗谷:上川職員					合 計	381	175

2024年度 第2回北海道手話通訳者現任研修会開催一覧

	振興局	開催地	開催日	開催時間	ろう講師	会 場 名	参加 対象 人数	参加 人数
1	石 狩	札幌市	8月31日(土)	10:00～15:00	佐々木柄理子	かでの2・7	109	14
2	渡 島	函館市	10月27日(日)	9:30～14:40	工藤 努	函館市総合福祉センター	32	17
3	檜 山	今金町				今金町民センター	3	1
4	後 志	余市町	10月5日(土)	13:00～17:00	越智 誠	余市町中央公民館	25	9
5	空 知	岩見沢市	8月31日(土)	10:00～15:00	畠山 啓子	岩見沢市生涯 学習センター いわなび	39	12
6	上 川	旭川市	8月31日(土)	10:00～15:00	越智 誠	おびった	45	19
7	留 萌	留萌市	11月27日(水)	18:00～21:00	橋本 由美	留萌中央公民館	4	2
8	宗 谷	枝幸町	9月28日(土)	10:30～15:30	渋谷 雄幸	枝幸町子育てサポート 拠点施設 にじの森	8	6
9	オホーツク	北見市	11月2日(土)	10:00～15:00	高元 絢	北見市民会館	14	11
10	胆 振 ※	苫小牧市	9月16日 (月・祝)	13:00～17:00	越智 誠	苫小牧市民活動センター	33	13
11	日 高 ※						6	1
12	十 勝	帯広市	8月10日(土)	13:00～17:00	高元 絢	帯広市グリーンプラザ	33	14
13	釧 路	釧路市	7月27日(土)	10:00～15:00	蠣崎 恵美子	釧路市中部地区 コミセンコア かがやき	22	16
14	根 室 ※	中標津町	8月10日(土)	10:00～15:00	橋本 由美	根室市北方四島 交流センター	8	4
※指導対応職員 ・胆振 日高:後志職員 ・根室:釧路職員						合 計	380	139

2024年度 第3回北海道手話通訳者現任研修会開催一覧

	振興局	開催地	開催日(曜日)	開催時間	会 場 名	参加 対象 人数	参加 人数
1	石 狩	札幌市	12月14日(土)	10:00～14:00	かでの2.7	109	17
2	渡 島	函館市	25年1月26日(日)	13:00～16:00	函館市総合福祉センター	32	20
3	檜 山	今金町	11月16日(土)	13:00～16:00	今金町民センター	3	2
4	後 志	余市町	11月9日(土)	13:00～16:00	余市町中央公民館	25	9
5	空 知※	岩見沢市	11月30日(土)	13:30～16:30	岩見沢市生涯学習センター いわなび	36	7
		滝川市	11月4日(月・祝)	13:30～16:30	滝川市まちづくりセンター みんなくる		5
6	上 川	富良野市	11月9日(土)	13:30～16:30	富良野文化会館	45	1
		名寄市	11月10日(日)	13:30～16:30	総合福祉センター		4
		旭川市	11月29日(金)	18:45～20:45	障害者福祉センター おびった		19
7	留 萌	留萌市	11月13日(水)	18:00～21:00	留萌中央公民館	4	2
8	宗 谷※	稚内市	11月30日(土)	13:30～16:30	キタカラ	8	6
9	オホーツク	北見市	11月23日(土)	9:30～12:30	北見芸術文化ホール	14	6
10	胆 振※	苫小牧市	10月26日(土)	13:00～16:00	苫小牧市民活動センター	33	5
		室蘭市	10月27日(日)	13:00～16:00	室蘭市障害者総合福祉センター びあ216		14
11	日 高※	浦河町	11月10日(日)	13:30～16:30	浦河町総合文化会館	6	4
12	十 勝	帯広市	11月2日(土)	13:00～16:00	帯広市グリーンプラザ	32	15
13	釧 路	釧路市	11月30日(土)	9:30～12:30	交流プラザさいわい	22	10
14	根 室※	別海町	11月10日(日)	9:30～12:30	町立青少年プラザ	7	5
合 計						376	151

※指導対応職員

空知:オホーツク職員(岩見沢)、後志職員(滝川)

宗谷:上川職員 胆振:後志職員

日高:十勝職員 根室:釧路職員

※※登録通訳者の合計数について

第1回/381、第2回/380、第3回/386と人数が異なる理由:道外転居・登録辞退・逝去によるもの

3. 要約筆記者養成講座の開催

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対し、手話の理解と取得の困難な中途失聴者・難聴者のコミュニケーション手段として不可欠な要約筆記者を養成した。

(1) 要約筆記者養成講座の開催・統一試験の実施(北海道委託事業)

目 的: 要約筆記者を養成し、聴覚障害者等の福祉の向上等を図ることを目的とする。

養成講座日程: 14 日間 84 時間(函館会場・日高会場の2か所)

2024 年8月 24 日(土)・25 日(日)、9月 21 日(土)・22 日(日)、
10 月 12 日(土)・13 日(日)・26 日(土)・27 日(日)、
11 月9日(土)・10 日(日)・30 日(土)、12 月1日(日)・21 日(土)・22 日(日)

講座会場:【函館】函館市総合福祉センター、【日高】門別公民館他

内 容: 要約筆記者としての専門的な知識・技術の習得、統一試験の実施

対 象: 聴覚障害者の福祉に理解と熱意があり、講座受講終了後、全国統一要約筆記者認定試験を受験できること。

受講者数: 17 名 (函館会場) 手書き 12 名、(日高会場) パソコン 2 名、手書き 3 名

試験対策講座:・札幌会場	2024年11月4日	9名、12月14日	10名
・ 〃	2025年1月18日		10名
・北見会場	1月18日		5 名
・函館会場	1月19日、25日、2月1日		11名
・日高会場	1月19日、26日、2月2日		5 名

試験日程: 2025 年2月 16 日(日)

試験会場:【札幌】道立道民活動センター(かでる2.7)

受験者数: 受験申込 34 名(手書き 26 名／パソコン8名／手書き・パソコン1名)

受験者数 32 名(手書き 24 名／パソコン8名／手書き・パソコン1名)

➡合格者数12名

(2) 要約筆記者指導者養成研修への派遣(北海道委託事業)

養成講座の指導者養成を目的に開催されている「要約筆記者指導者養成研修」へ受講者を派遣した。

- ・ステップアップコース(養成講座の指導経験者で、道障がい福祉主管課等が認めた者)
- ・主 催: 社会福祉法人聴力障害者情報文化センター(協力: 全難聴、全要研)
- ・日 時: 2024 年 11 月2～4 日(オンライン)
- ・修 了: 手書き1名、パソコン1名

(3) 登録要約筆記者の現任研修の開催(共同募金会配分事業)

北海道に登録している要約筆記者に対し、オンラインを併用した研修会を開催し、要約筆記者個々及び全体の資質の維持・向上を図る

(内容・実施日)

- | | | |
|----------------|-------------------------|---------|
| ・2024 年5月 17 日 | UDトーク／オンライン | 参加 7名 |
| | (講師:UDトークオンラインレッスン講師) | |
| ・ 6月 24 日 | パソコン／オンライン | 参加 10 名 |
| ・ 6月 30 日 | 手書き／午前オンライン・午後ハイブリッド | 参加 22 名 |
| | (講師:全国要約筆記問題研究会認定講師) | |
| ・2025 年1月 28 日 | 障害福祉概論(講師:北海道障がい者保健福祉課) | 参加 32 名 |
| ・ 2月 20 日 | 補聴器・難聴他(講師:言語聴覚士) | 参加 33 名 |

4. 手話通訳士育成研修会の開催

【2024 年度手話通訳士育成講座】

日 時:7月13日(土)13:30～18:30 14日(日) 9:00～16:00

会 場:道立道民活動センター(かでの2.7)

対象者:①本年度の手話通訳士試験に挑戦する者

②次年度以降、手話通訳士試験の挑戦を考えている者

内 容:技術 手話の文法的特徴、口頭読み取り、聞き取り表現、模擬試験

参加者:6名

5. 手話通訳者養成講師育成研修会の開催

【2024 年度手話通訳者養成講師育成研修会】

日 時:2024 年 9 月 28 日(土) 9:30～18:00

29 日(日) 9:30～15:30

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7) 520 研修室

内 容:手話奉仕員養成課程(基礎)及び手話通訳養成課程(基本)

講 師:社会福祉法人全国手話研修センター

手話奉仕員養成テキスト改訂作業部会

一般社団法人山口県ろうあ連盟事務局長 塚原 辰彦 氏

参加者:27 名

6. 手話通訳者レベルアップ講座

(札幌) 日 時:2024 年 11 月 2 日(土)～3 日(日)

札幌市 道立道民活動センター(かでの 2.7)

参加者:30 名

(中標津) 日 時:2024 年 11 月 16 日(土)～17 日(日)

中標津町 総合福祉センタープラット

参加者:23 名

(北 斗)日 時:2025 年 2 月 8 日(土)～9 日(日)

北斗市 ①1 日目総合文化センターかなで～る

②2 日目七重浜住民センターれいんぼー 参加者:13 名

Ⅲ手話の普及事業

1. 手話研究集会の開催

【第 44 回北海道手話通訳問題研究集会】

日 時:2024 年 7 月 6 日(土)17:20～20:00・7 日(日)9:45～14:45

会 場:仁木町民センター

内 容:①講演:「原子力防災対策について」

講師:北海道電力(株) 担当者

②講演:ビブス作成における地域の取り組み

講師:後志ろうあ協会、余市・岩内・倶知安・仁木手話の会

体験:AED 救命講習

講師:仁木消防署

参加者:115 名(対面 45 名・オンライン 70 名)

2. 手話講師の派遣

聴覚障害の理解と手話の普及・啓発を図るため講師を派遣した。

① 北海道ろうあ連盟法人部門

日時・会場	依頼者・会合名・内容
10 月 17・31 日、11 月 14・28 日、12 月 12 日、1 月 9・23 日、2 月 13・27 日、3 月 13・27 日 洞爺湖町・かでの 2.7(遠隔手話講座)	洞爺湖町手話奉仕員養成講座 講義・実技
2 月 6 日 洞爺湖町温泉小学校、洞爺湖小	洞爺湖町役場
5 月 29 日、6 月 5・12・19・26 日、7 月 3・10・17・24・31 日、8 月 21・28 日、9 月 4・11・18・25 日、10 月 2・9・16・23・27 日 7 月 21 日合同講義 中標津町・かでの 2.7(遠隔手話講座)	中標津町手話奉仕員養成講座 講義・実技
5 月 28 日、6 月 4・11・18・25 日、7 月 2・9・16・23・30 日、8 月 20・27 日、9 月 3・10・17・24 日、10 月 1・8・15・22・27 日 7 月 21 日合同講義	別海町手話奉仕員養成講座 講義・実技

別海町・かでの 2.7(遠隔手話講座)	
9月2・9・25・30日、10月8・16・28日、 11月5日 水産ビル、産業技術訓練センター	日本経営協会 北海道新採用職員研修 講義・実技
2024年4月～2025年1月 前期 全29回	学校法人美専学園 北海道医薬専門学校 保育学科 講義・実技、手話検定試験5級(全員合格)
2024年10月～2025年2月 後期 全16回(1回2コマ) 札幌観光ブライダル・製菓専門学校	学校法人安達学園 札幌観光ブライダル・製菓専門学校 ユニバーサルサービス(手話)

② 手話通訳派遣センター養成研修部門

日 時	依 頼 者 ・ 会 合 名 ・ 内 容
11月7日(水)13:00～16:00 登別市役所内	登別市:手話通訳者登録員研修会 実技「聞き取り通訳」
12月20日(金)13:30～16:30 伊達市市民活動センター	伊達市:手話協力員研修会 実技:講義:「基本文法について」 「手話通訳の心構え」
1月28日(火)18:00～20:00 南幌町保健福祉総合センター・ あいくる	南幌町:手話奉仕員スキルアップ講座 講義・実技「手話の8文法について」 「読み取り通訳」
2月4日(火)18:00～20:00 南幌町保健福祉総合センター・ あいくる	南幌町:手話奉仕員スキルアップ講座 講義・実技「優生保護法の裁判の現状について」 「読み取り通訳」
2月18日(火)12:30～15:00 余市町中央公民館	後志ろう協:フォローアップ講座 実技:講義:「手話の特徴」
2月18日(火)18:00～20:00 南幌町保健福祉総合センター・ あいくる	南幌町:手話奉仕員スキルアップ講座 実技「聞き取り通訳」
2月25日(火)18:00～20:00 南幌町保健福祉総合センター・ あいくる	南幌町:手話奉仕員スキルアップ講座 実技「聞き取り通訳」

IV 北海道聴覚障がい者情報センター

1. 聴覚障害者情報提供施設関係

(1) 北海道聴覚障がい者情報センター利用者数

月 度	来館者数	月 度	来館者数	月 度	来館者数	月 度	来館者数	
4 月	35	5 月	48	6 月	42	7 月	36	
8 月	28	9 月	56	10 月	40	11 月	42	計
12 月	6	1 月	35	2 月	37	3 月	27	432

(2) NPO 全国聴覚障害者情報提供施設協議会

①施設長会議

日時:2024 年 6 月 13 日(木) ・ 会場:宮城県(みやぎハートフルセンター)

今回から新設された。「事務局体制の確立と今後の協議会のあり方について」をテーマに意見交換を行った。

②2024 年度総会・第 20 回(通算第 32 回)施設大会

日時:2024 年 6 月 14 日(金) 会場:宮城県(みやぎハートフルセンター)

総会では下記の通りの報告がありました。

- ・ 厚生労働省の補助事業である令和 5 年度障害者総合福祉推進事業の「聴覚障害者のニーズの変化や ICT 技術の進展に対応した聴覚障害者情報提供施設における今後の支援体制や支援方法等に関する調査・研究事業」などを行った。「映像制作」「相談事業」「遠隔通訳」における ICT 活用の現状は施設によって大きく異なり、利用者のニーズに応えられない施設が多い。「映像制作」においては即戦力となる人材確保や編集技術、「相談事業」においては ICT 活用や人材育成、「遠隔通訳」においては遠隔地や災害時などの緊急対応のための ICT 活用の推進などが課題であるが、人的にも費用的にも対応が困難な施設があり、全国的な施設の底上げが望まれる。
- ・ 映像ライブラリーはオンライン化を具体的に進める必要である。
- ・ 理事は 2 年任期であり、2023 年度改選済み。監事は 2022 年度に選任された山梨県(2023 年度総会開催地)が任期終了。後任に 2025 年度総会開催地となる富山県から選任された。

<役員体制 2023-2024 年度>

理事長 中西久美子(第 4 ブロック長:近畿・東海)

副理事長 太田 裕之(第 5 ブロック長:中国・四国)

事務局長 井澤 昭夫(推薦 大阪府)

理事 宮内 博子(第 1 ブロック長:北海道・東北)相談支援担当

理事 藤平 淳一(第2ブロック長:北信越)事務局付
理事 川津 雅弘(第3ブロック長:関東)映像制作担当
理事 西川 研 (第6ブロック長:九州)意思疎通支援担当
意思疎通支援担当者研修委員長 竹内 恵子(所属施設:横浜市)
映像制作担当者研修委員長 坂井 隆行(所属施設:新潟県)

相談支援担当者研修委員長 ^{かじ}楫 希代見(所属施設:堺市)

監事 松本 隆一(宮城県)
監事 中橋 道紀(富山県)※任期 2024-2025 年度

②第1ブロック(北海道・東北)活動研修会

日 時:2024 年 11 月 1 日(金) 会場:宮城県聴覚障害者情報センター
会場出席:(青森・岩手・宮城・山形・北海道)とオンライン出席(札幌・秋田・福島)のハイブリッド方式

内 容:

1.各施設代表による協議

- ・2024 年度予算の補正
- ・2025 年度の開催地について➡岩手県に決定。
- ・協議会からの検討についての意見集約

2.役職体制確認

<2023～2024 年度>

ブロック長:北海道(宮内)、事務局長:青森県

映像制作担当:宮城県、意思疎通担当:札幌市、相談支援:北海道(協議会兼務)

<2025～2026 年度>

ブロック長:青森県、事務局長:岩手県

映像制作担当:秋田県、意思疎通担当:2025 年度札幌市、2026 年度 北海道

相談支援:宮城県

3.講演「聴覚障害者情報提供施設の運営について」

講師 NPO 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 副理事長 太田 裕之 氏

(3)北海道聴覚障がい者情報センター運営懇話会

日 時:2025 年 1 月 22 日(火) 会 場:道立道民活動センター(かでる 2.7)

出席者:

藤野 友紀 札幌学院大学 人文学部准教授 (学識経験者)

徳田 泰則 北海道保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課 課長
 佐藤 裕人 一般社団法人北海道身体障害者福祉協会 事務局長
 菅野 美樹 特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会 北海道ブロック
 高橋 律子 北海道要約筆記者の会 会長
 打矢 郁子 北海道要約筆記サークル連絡協議会 会長
 渋谷 悌子 北海道手話通訳問題研究会 運営委員長
 松井 宏幸 北海道手話通訳士会 会長
 大内 祥一 (公社)北海道ろうあ連盟 理事長
 渋谷 雄幸 (公社)北海道ろうあ連盟 副理事長
 宮内 博子 北海道聴覚障がい者情報センター 施設長
 伊藤 喜幸 北海道聴覚障がい者情報センター 次長
 (欠席 沖村 圭子 NPO法人札幌盲ろう者福祉協会 副会長
 荒井 さとみ 北海道中途難失聴者協会 副会長
 神能 直子 北海道手話サークル連絡協議会 企画部長)

各団体から出された議題を中心に意見交換を行った。

- ・道内の手話関係の情報共有化
- ・要約筆記者の現任研修の参加費無料化の要望
- ・旧優生保護法補償についての取り組み など。

(4) 北海道聴覚障がい者情報センター運営委員会の開催

第1回	2024年4月27日(土)	13:00～16:00	かでの 2.7
第2回	2024年11月23日(土)	14:00～16:00	かでの 2.7
第3回	2025年2月15日(土)	13:00～16:00	かでの 2.7

情報センターの事業等に関して報告、意見交換を行った。

運営委員会出欠表

役職	氏名	第1回	災害	第2回	第3回
委員長	大内 祥一(北海道ろうあ連盟 理事長)	○	○	○	○
副委員長	渋谷 雄幸(北海道ろうあ連盟 副理事長)	○	○	○	○
委員	藤野 友紀(学識経験者 札幌学院大 准教授)	○	—	○	○
委員	中川 智美(北海道中途難失聴者協会 会長)	○	欠	欠	○
委員	小林 房子(要約筆記問題研究会 北海道ブロック)	○	○	○	○
委員	小林 博子(北海道要約筆記者の会 副会長)	○	○	○	○
委員	打矢 郁子(北海道要約筆記サークル連絡協議会 会長)	○	欠	欠	○
委員	尾形 直樹(北海道手話サークル連絡協議会事務局長)	○	○	○	○

委 員	渋谷 悌子(北海道手話通訳問題研究会 運営委員長)	○	○	○	○
委 員	松井 宏幸(北海道手話通訳士会 会長)	○	○	○	○
委 員	橋本 由美(北海道ろうあ連盟 副理事長)	○	○	○	○
委 員	中 和彦(北海道ろうあ連盟 常務理事兼事務局長)	○	○	○	○
委 員	宮内 博子(北海道聴覚障がい者情報センター 施設長)	○	○	○	○
委 員	高嶋 正博(北海道ろうあ連盟 理事)	○	—	○	○
委 員	佐々木柄理子(北海道ろうあ連盟 理事)	○	—	○	○
委 員	金原 浩之(北海道ろうあ連盟 理事)	欠	—	○	○
事 務 局	伊藤 喜幸(道聴覚障がい者情報センター 次長)	○	○	○	○
オブザーバー	伊藤 壮(北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課社会参加係 係長)	—	—	欠	○

(5)聴覚障害者災害救援北海道本部会議

2024 年度	2024 年 11 月 23 日(土)	13:00～14:00	かでの2. 7
---------	---------------------	-------------	---------

(出席者は上記の表に記載。)

2. 字幕ビデオライブラリー事業

北海道の補助を受けて、(社福)聴力障害者情報文化センター・札幌市視聴覚障がい者情報センター等と連携し、字幕・手話付き映像作品の制作と貸出やHPでの閲覧業務を行った。

・対象:聴覚障害者、聴覚障害者福祉関係機関・団体、手話学習者等

(1) 【貸出事業】

手話・字幕が付与された DVD を北海道内の聴覚障がい者や手話関係者に貸出を行った。

・新規登録数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害児者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体・学校・施設等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4
合 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4

・貸出数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出数	8	3	3	5	0	1	0	0	0	0	7	7	34

・貸出人数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害児者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
団体・学校・施設等	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	3	3	13
合 計	3	1	1	2	0	1	0	0	0	0	3	3	14

(2)【知事会見手話ワイプ制作事業】

北海道知事定例記者会見に手話通訳付きの動画を作成し道のHPで公開した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	2	6	4	3	3	2	4	3	3	3	4	40

3. 手話通訳者全国統一試験

手話通訳者養成講座修了者及び同等の知識・技術を有するものを対象に全国手話研修センター主催の試験を道内4か所で開催した。

日 時:2024 年 12 月 7 日(土)

会 場:札幌市・網走市・帯広市・旭川市

区分	会場	申込者数	受験者数	合格者数
養成講座修了者	札幌	9	9	1
	網走	9	8	5
	帯広	6	6	2
同等の知識・技術を有するもの	札幌	16	16	3
	網走	2	2	1
	帯広	2	2	2
	旭川	20	19	5
合 計		64	62	19
合格率		30.65%		

* 全国平均 17.98%

4. 2024 年度北海道手話通訳者健康問題対策委員会(情報・コミュニケーション部担当)

日 時:2025 年1月 18 日(土) 10:00～12:00

出席者:北ろう連:渋谷委員長(欠席)、高嶋、中、伊藤

北通研:吉野^{よし のくにまさ}洲正 北手協:坂元^{さかもとひでゆき}秀行 道士会:松井^{まついひろゆき}宏幸 北ろう組:村本^{むらもと}あけみ

内 容:1,道内手話通訳者の健康対策状況

2,検診実施状況

3,各団体の健康対策の取り組み

4,会計収支報告

V 聴覚障害者の福祉の増進に関する事業

1. 全道ろうあ者相談員・全道専任手話通訳者研修会の開催

【第 50 回全道ろうあ者相談員研修会・第 47 回全道専任手話通訳者研修会】

目 的:ろうあ者相談員・専任手話通訳者の資質の向上を図るため、福祉に関する諸問題を討論する研修会を開催した。

日 時:2024 年 10 月 10 日(木) 9:30～17:00 ・10 月 11 日(金) 9:30～15:30

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7)

内 容:①講演:「聴覚障害者支援を考える～聞こえない人の心に寄り添うことは～」

講師:稲 淳子 氏(精神保健福祉士 社会福祉士)

②演習・レポート発表、討議

参加者:57 名(ろうあ者相談員 17 名・通訳者 40 名)

2. 道政等懇談会

(1) 北海道聾学校長会との教育懇談会

日 時:2024 年 11 月 25 日(月)13:00～15:00

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7) 連盟と各校長とのオンライン会議

出席者(北海道聾学校長会)

会 長	すがの ひろたか 菅野 弘尊(北海道旭川聾学校長)
副会長	し ぎ さだひろ 四木 定宏(北海道札幌聾学校長)
事務局長	おおつか まさひこ 大塚 雅彦(北海道高等聾学校長) 司会担当
理 事	にかいどう ようこ 二階堂 洋子(北海道帯広聾学校長)
理 事	もん ま よしひろ 門真 義弘(北海道函館聾学校長)
監 事	う の こうのすけ 宇野 宏之祐(北海道室蘭聾学校長)
監 事	さいとう けんたろう 斉藤 健太郎(釧路鶴野支援学校長)

(連 盟)

大内理事長、渋谷副理事長、橋本副理事長、中常務理事

宮内理事(道聴覚障がい者情報センター施設長)、越智理事(教育・文化対策部)

※詳細については参考資料をご覧ください。

(2) 道政懇談会(福祉)

日 時:2024 年 7 月 29 日(月) 10:00～12:00

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7)

出席者:北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

徳田課長、菊池主幹、伊藤係長、舟山主任

連 盟／大内理事長、渋谷副理事長、橋本副理事長、中常務理事

京野理事、高嶋理事、宮内理事、福島理事、小山理事

要望:聞こえない・聞こえにくい者の福祉施策への要望

- 1,一般財団法人全日本ろうあ連盟が提唱している「手話施策推進法(仮称)」の早期制定を北海道からも国に要請してください。
- 2,北海道が制定した手話言語条例に基づき、手話言語への理解と普及に引き続き取り組みてください。
- 3,合理的配慮の提供推進や障害者への差別・優生思想の払拭のため、道や振興局の催事などの機会に啓発を進めてください。
- 4,デフリンピックへの理解・普及の取り組みの協力をお願いします。

(3) 道政懇談会(教育)

日 時:2024 年 7 月 29 日(月) 13:15～15:00

会 場:道立道民活動センター(かでる 2.7)

出席者:北海道教育庁学校教育局特別支援教育課

中嶋課長 山内課長補佐、吉田係長

連 盟／大内理事長、渋谷副理事長、橋本副理事長、中常務理事

京野理事、高嶋理事、宮内理事、佐々木理事、小山理事

要望:きこえない・きこえにくい子どもたちの現状の把握と子どもたちと保護者の支援体制について

- 1,手話言語に対する姿勢について
- 2,聞こえる学校から異動してきた先生、職員への配慮。
- 3,手話言語への理解、手話言語を使える先生、保護者、児童・生徒を増やしていくための環境整備について。
- 4,ろう学校の教育設備や食育(予算の配慮)について。
- 5,道内ろう学校の部活動について。
- 6,社会に出た卒業生の自立を支援し、成長を促す役割のひとつとして、学校施設の活用方法について

※ 詳細については参考資料をご覧ください。

VI 聴覚障害者福祉に関する普及・啓発

1. 全道ろうあ者大会の開催

【第 65 回全道ろうあ者大会 in 室蘭】

日 時:2024 年 9 月 6 日(金)～8 日(日)

会 場:室蘭市 室ガス文化センター、障害者福祉総合センター(ぴあ 216)

内 容:①記念講演「手話映画と私 ～最新作は優生保護法の問題～」

講師:聾宝手話映画代表 ^{たに しんいち} 谷 進一 氏

②手話セミナー「未来を見据えて～自立活動の支援から～」(参加者 169 名)

講師:宮崎県立清武せいりゅう支援学校教諭 ^{ひだか みさき} 日高 美沙妃氏

③福祉セミナー「令和 6 年度 能登半島地震について」

講師:社会福祉法人石川県聴覚障害者協会業務執行理事 藤平 淳一 氏
④青年のつどい「過去から学び、仲間を増やそう」(参加者 34 名)

講師:北海道ろうあ連盟理事、北通研役員
⑤女性のつどい「ミニ講演とワークショップ」(参加者 99 名)

講師:俳優/ろう通訳者/手話講師 河合 祐三子 氏
⑥高齢者のつどい「手話を奪ったろう教育を批判し続けて」(参加者 114 名)

講師:名寄市立大学名誉教授 清野 茂 氏
大会全体参加者:688 名(オンライン参加 94 名)

2. ろうあ労働問題フォーラムの開催

【第 27 回ろうあ者労働問題フォーラム】

日 時:2024 年 11 月 10 日(日)10:00～15:00 受付 9:30～

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7)

内 容:①講演:「手と手」の経緯と課題 釧路聴力障害者協会の取り組み

講師:一般社団法人釧路聴力障害者協会

理事長 蛸崎 日出雄 氏

②グループ別討議

参加者:27 名(講演のみ対面及びオンラインによるハイブリッド方式)

3. ろう教育フォーラム in 北海道の開催

【第 25 回ろう教育フォーラム in 北海道】

日 時:2024 年 8 月 4 日(日) 10:00～16:00

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7)

内 容:(午前)講演「セルフアドボカシースキル」

講師:堀米 泰晴氏(一般財団法人全日本ろうあ連盟教育文化委員会委員長)

(午後)パネルディスカッション

コーディネーター担当 北海道ろうあ連盟理事 佐々木 柄理子

小嶋 義勝氏(札幌大学地域共創学群 教養学係 教授)

森 咲氏(札幌聴覚障害者協会職員)

工藤 努 氏(北海道ろうあ連盟理事)

参加者:78 名(会場及び個人オンライン参加)

4. スポーツリーダー育成研修会の開催

【2024 年度北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成研修会】

日 時:2025 年1月 19 日(日) 10:00～12:00

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7)

内 容:講演:「デフリンピックに参加して想ったこと」

パネラー: 佐藤 隆(サッカー)、手塚 清貴(バスケットボール)、
高畑 美優治(スキー)、宮村 章弘(カーリング)

(いずれも北海道ろうあ連盟会員)

参加者:30 名

VII 収益等事業

1.出版等事業

①出版事業(書籍の制作・販売、(一財)全日本ろうあ連盟が扱う書籍の販売)

2024 年度書籍売り上げ(数)ベスト 20

2025 年 3 月 31 日現在

順位	品 名	売上 冊数	前年 参考		売上額 (円・税抜)	備 考
1	手話を学ぼう手話で話そう 全面改訂版	818	494	↑	2,245,200	
2	新しい手話 2025	682	476	↑	572,220	参考:新 2024
3	手話奉仕員養成のための講義テキスト	672	353	↑	553,410	
4	新 たっちゃんと学ぼう	555	500	↑	110,400	
5	カタカナ語・外来語ハンドブック	483	-	-	224,050	
6	DVD 場面通訳 2024	432	-	-	636,383	
7	50代からのちょこっと手話	409	-	-	307,840	
8	手話を学ぼう手話で話そう 旧テキスト	320	938	↓	907,500	
9	医療関連用語ハンドブック	317	577	↓	149,750	
10	法律・人権関連用語ハンドブック	316	-	-	145,100	
11	季刊 MIMI 185(夏)	217	238	↓	187,421	参考:181 号
12	季刊 MIMI 184(春)	213	236	↓	183,965	参考:180 号
13	季刊 MIMI 186(秋)	213	235	↓	183,965	参考:182 号
14	季刊 MIMI 187(冬)	211	232	↓	182,273	参考:183 号
15	手話学習辞典 I (緑)	144	152	↓	344,500	
16	手話を学ぼう 講師用指導書 改訂版	114	286	↓	279,360	
17	DVD で楽しく学べる初めて出会う手話	97	2	↑	174,420	※1
18	手話通訳 I テキスト	75	41	↑	198,520	
19	新しい手話 2024	63	476	↓	54,540	
20	手話学習辞典 II (オレンジ)	60	60	→	144,820	

※1 毎年、専門学校から 100 冊程度の注文がある。例年 4 月初めに販売するが、2023 年は 3 月末に販売したため、2024 年度の数字には学校購入は含まれていない。

2. 手話カレンダー等事業

2024 年度手話カレンダー売上

2025 年 3 月 31 日現在

品 名	仕入	贈呈	販売数(昨年)	残数	売上額(昨年)
手話カレンダー(大)	2,000	89	1,666(1,598)	245	707,600(677,900)
手話カレンダー(小)	2,000	90	1,747(1,606)	163	633,650(580,100)
合 計	4,000	179	3,413(3,204)	408	1,341,250(1,258,000)

3. 自動販売機手数料事業

	設置場所	売上手数料
1	道立総合体育センター(きたえーる)	105,206 円
2	渡島振興局(2 台)	81,637 円

Ⅷ相互扶助等事業

1. 機関紙「北聴」発行

2024 年度	主な内容
第 247 号(6 月 10 日発行)	女性部 50 周年・能登地震募金・冬季デフリンピック
第 248 号(7 月 10 日発行)	総会報告・手話カレンダー予約開始
第 249 号(11 月 10 日発行)	全道ろうあ者夏季体育大会、全道ろうあ者大会(一部カラー)
第 250 号(1 月 10 日発行)	謹賀新年挨拶・労働フォーラム・協力団体紹介
第 251 号(3 月 10 日発行)	旧優生保護法補償金等支給開始、スポーツリーダー研修会

※6 ページ(249 号 10 ページ、250 号 12 ページ)

【2024 年度の報告】

- ①6 回発行予定でしたが、編集の都合上、249 号を 2 号分とし、ブルーライトアップの写真のため、一部、カラー化しました。
- ②事業案内や報告に偏らないように工夫してみました。手話ができる人がいる果樹園紹介(248 号)、北海道手話通訳問題研究や北海道手話サークルから寄稿(250 号)、手話を広める北海道議会議員連盟の学習会の報告(248 号)など幅広く載せました。

2. 合同研修会

【2024年度北ろう連合同研修会】

日 時:2024年7月27日(土) 13:30～ 28日(日) 15:30

会 場:5会場(函館・釧路・帯広・旭川・札幌)

参加人数:5協会 約56名

内 容:7月27日(土) 状勢と課題(報告)

① 第1回全国福祉担当者会議(福祉・労働対策部)

② 第1回組織担当者会議(組織部)

③ 第12回評議員会(北海道ブロック評議員)

7月28日(日) ワークショップ

① 加盟団体協会からの報告(取り組み・課題)・意見交換会

24 協会のうち、5 協会から昨年同様約 56 名が参加しました。欠席協会が多くとても残念に思いました。一日目の報告は、画面越しで見づらいといった課題が挙げられましたが、全日ろう連の取り組みや全国ろうあ者大会の報告がわかったなど情報を共有する意味合いではとても大事だと実感しました。2 日目は昨年の反省を活かし、小人数でありながらも、地域での課題、他協会との情報交換をメインにした意見交換会は好評であったことが伺えました。

2025 年度の合同研修会も 7 月に実施する方向です。北海道は広大で、旅費もかさむことからハイブリッドを導入しており、年に 1 回の開催なので積極的な参加をお願いしたいと思います。

3. 生活訓練事業

聴覚障害者の社会生活に関する各種教室等を開催する加盟団体を支援した。

ブロック	道南	道央	道北	道東
期 日	11月 17 日(日)	7月 13 日(土)	2025 年 2 月 16 日(日)	10 月 27 日(日)
会 場	のぼりべつ文化交流館 カント・レラ のぼりべつクマ牧場	北広島市 広葉交流センター	美唄市市民会館	訓子府公民館
参加者	67 名	43 名	14 名	25 名
内 容	午前: 講演「熊の生態と共存」 報告会「全日本ろうあ連盟 評議員会」 午後: のぼりべつクマ牧場見学	午前:講演「韓国ろうあ者 協会大田広域市協会と交 流派遣団のお話」 午後:レクリエーション 「カーリンコン」	「カーリンコンを 楽しもう！」	講演:蜜蜂と人間のくらし 作業体験:ミツロウキャンド ル作り、ハンドクリーム作り
講 師	講師: のぼりべつクマ牧場 学芸員:坂元 秀行 氏 報告者:北ろう連盟理事 佐々木柄理子 氏	午前:渋谷 雄幸 氏 他 午後:北海道カーリンコン 協会担当者	北海道カーリンコン協会	(株)菅野養蜂場 菅野裕隆 氏 菅野菊枝 氏

IX 連盟各部・委員会等の活動に対する支援

1. 組織部

(1) 北海道ろうあ連盟の現状と課題

1) 会員現状と加盟団体の現状
会員現状は 2018 年をピークに減少し、1,000 人を割りました。加盟団体協会は美唄ろうあ協会が 2024 年 9 月に解散し、23 の協会となっています。23 加盟団体協会のうち 5 人以下の協会は 4 協会(登別、北斗、中空知、稚内)、6 人以上 10 人以下の協会が 4 協会(伊達、後志、上川北部、根室)です。若手育成が難しい、仲間が増えない理由、連盟との連携をどうしていくか、179 市町村すべてとは言いきれません。きこえない、きこえにくい人は少なからずいます。加盟団体の創立年は全体の 2 分の 1 が 50 年を過ぎています。(5 年～10 年:2 協会・20 年から 48 年:6 協会・50 年～97 年:15 協会)歴史ある協会の存続、存在意義を共に考えて行きたいと思っています。

2) 加盟団体協会の現状とオンライン会議開催について

加盟団体会員数の少数に伴い、四ブロック組織体制の見直しについて意見を交わしたく、手話言語条例施行等に伴うそれぞれの自治体との連携を保っている協会の活用をどう活かしていくか、また、運動の一つとしてあげられている三拡大(会員、日聴紙・季刊みみ読者)の取り組みを共有する意見交換会をオンラインで実施する予定は 5 月から 6 月に行う予定です。あわせて、年に 1 回開催している合同研修会時にも全日本ろうあ連盟評議員会の報告をもとに北海道ろうあ連盟の今後について共に考え、取り組んでいきたいと思っています。

(2) 加盟団体協会事務局長オンライン会議 (Zoom によるオンライン会議)

日 時: 2025 年 5 月から 6 月に実施方向

- 内 容:
1. 会員減少の原因と課題
 2. 協会の存在について
 3. 協会運営について
 4. 加盟団体の組織内課題

(3) 会員の所属自治体 (58 自治体)

2025.3.31 届け出による。

道南		道央		道北		道東	
小樽市	鹿部町	札幌市	当別町	旭川市	美瑛町	帯広市	新得町
函館市	森町	千歳市		富良野市	東神楽町	釧路市	音更町
室蘭市	七飯町	北広島市		岩見沢市	東川町	根室市	池田町
伊達市	白老町	江別市		三笠市	鷹栖町	北見市	幕別町
苫小牧市	余市町	恵庭市		美唄市	当麻町	網走市	芽室町
登別市	黒松内町	石狩市		滝川市	愛別町		釧路町
北斗市	寿都町			赤平市	羽幌町		白糠町
	古平町			名寄市	下川町		中標津町

	泊村			士別市			訓子府町
				稚内市			斜里町
							津別町
							美幌町

※太字は加盟団体協会事務局がある自治体

(4) 組織の現状と特徴

※道北ブロック 2024 年度までの役員体制

ブロック	ブロック	道南ブロック	道央ブロック	道北ブロック	道東ブロック
	構成 役職	後志・胆振・ 渡島管内	石狩管内	上川・空知・ 宗谷管内	釧路・根室・十勝・ オホーツク管内
	委員長	熊倉 晃(小樽)	村山清貴(江別)	稲荷山佳光(美唄)	高畑美優治(十勝)
	副委員長	酒井幹雄(苫小牧)			五十嵐司(帯広)
委員会	事務局長	山野未来(後志) 付:宮武美登里(室蘭)	新田由香(札幌)	野田一男(旭川) 副:橋本由美(旭川)	水口拓也(十勝)
氏名	会計部長	大澤利彦(函館) 付:清水政治郎(伊達)	野口和伸(札幌)	工藤 努(旭川)	鎌野英幸(十勝)
	組織部長			岡崎尚則(上川北部)	
	監 事	山田 隆(登別) 扇谷吉久(北斗)	森 恵子(札幌)	大田晃栄(旭川)	山本理恵(帯広)
ブロック内サークル、北通研との共同や連携に関する ことなど		例)サークル育成、ろう相設置、通訳者、奉仕員講座開設、講師養成、登録、派遣制度に関する意見交換などありましたら書いてください。			
		なし	なし	なし	なし
ブロック 委員会 の開催	社員 総会前	例)ブロック内(地域)の福祉課題の検討や取組み、議案、提案、懸案事項への意見集約に関してどんなことがあったか書いてください			
		道南ブロック評議員会 2024 年 4 月 14 日(日) 室蘭市障害者福祉センター	2/1(土)19:00～ 札幌市(かでの 2・7) 2024 年度事業報告 ・第 65 回全道ろうあ者大会 in 室蘭 ・第 56 回全道ろうあ者夏季体育大会 in 千歳 ・2024 年度監査報告 等	道北ブロック代議員会 2025 年 4 月 6 日(日) 旭川市障害者福祉センターおびった 役員・代議員 計 6 名	5 月 18 日(土) 5 協会より 12 名
	社員 総会后	例)全国、全道的な運動課題の検討や取組み、大会決議、運動方針の具体化などはどんなことがあったか書いてください。			
		なし	なし	なし	なし
ブロック 研修・ 交流会 の開催	期 日	生活訓練事業	生活訓練事業	生活訓練事業	5/18(土)・19(日)
	会 場				中標津町(道立ゆめの森公園パークゴルフ場・中標津町総合体育館)
	参加者				78 名
	内 容				5/18(土) ・スポーツ交流会 パークゴルフ競技 30 名 5/19(日) ・スポーツ交流会 フロアカーリング競技 16 チーム 35 名 ソフトバレーボール競技 3 チーム 13 名

2. 教育・文化対策部

全国ろうあ者大会(和歌山)の写真コンテストがあり、北海道からは、他県より多く応募していました。

長年の経験やスキルを積み重ねたことから多数入賞をすることができました。

「自由写真部門」7名(「全日本ろうあ連盟理事長賞」「和歌山県知事賞」「和歌山市長賞」など)

「課題写真部門」7名(「和歌山県カメラ商組合賞」など)

計14枚の受賞作品を全道ろうあ者大会(室蘭市)で展示しました。

3. スポーツ部

(1)第1回スポーツ委員会

日 時:2024年6月29日(土)18:00~19:20

会 場:千歳市総合福祉センター(千歳市)

競技団体:ボウリング、パークゴルフ、バドミントン、ソフトバレーボール、サッカー
フロアカーリング、男子バレーボール、スキースノーボード

ろう協会:札幌、函館、帯広、釧路

内 容:1.スポーツ委員会活動報告

2.第58回全国ろうあ者体育大会(群馬県)参加確認

3.各競技団体より経過報告と今後の予定

4.デフスポーツ・サポーター制度

(2)第2回スポーツ委員会

日 時:2025年1月19日(日)13:00~15:00

会 場:道立道民活動センター(かでの2.7)

競技団体:バドミントン、サッカー、フロアカーリング、ボウリング、パークゴルフ
男子バレーボール、ソフトバレー、ソフトボール、カーリング
スキースノーボード

ろう協会:札幌、北広島、函館、旭川、江別、千歳、室蘭、苫小牧、十勝、帯広、釧路

内 容:1.スポーツ委員会活動報告

2.第58回全国ろうあ者体育大会(群馬県)参加報告

3.加盟団体体育部長懇談会報告

4.公益信託荒木障害者スポーツ基金助成金報告

(3)スポーツ委員会体制について

委員長 熊倉 晃(小樽)

事務局長 和田 由記子(室蘭)・事務局員 長谷 和明(札幌)

4. 青年部

(1)第65回全道ろうあ者大会 in 室蘭「青年のつどい」

日 時:2024年9月7日(土)

講 師:公益社団法人北海道ろうあ連盟理事 工藤 努氏

北海道手話通訳問題研究会道南支部 坂元 秀行氏

N-Actionほっかいどうとの合同企画を初めて実施しました。「青年部とは何?」「N-Actionとは何?」の説明から、そしてきこえない、きこえるそれぞれの立場での活動の経験を講演していただきました。

参加者数:33名

(2)第 37 回全道ろうあ青年研究討論会 in 札幌(ミニ青研)

日 時:2024 年 8 月 31 日(土)～9 月 1 日(日)

テーマ:「我々が社会を動かす番だ!」

講師:(一財)全日本ろうあ連盟青年部中央委員会組織部員 吉池 悠氏

「青年部のネットワーク」「会員拡大」など組織に関わるテーマを中心に講演していただきました。

参加者数:22名

(3)第55回北海道ブロック代議員会in釧路

日 時:2024 年 12 月 15 日(日)

会 場:釧路市身体障害者福祉センター

対面+オンライン併用、ハイブリッド形式で開催。代議員会は 28 名のうち、出席 12 名、委任 9 名、合計 21 名で成立した。事業報告や事業方針、会計など審議し役員改選も行った。

新役員体制(2025～2026 年度)

部 長:長谷 和明(札幌※) 副部長:小林愛美(千歳※)

総務部長:清原 麻美(札幌※) 財政部長:仲田 成沙(札幌※)

事業部長:森 咲(札幌) 組織部長:田中 祥平(函館※)

組織部副:山口 雄太(釧路) 広報部長:吉川 優菜(函館※)

※は全国委員を務める

会計監査:伊藤 彰悟(旭川)・菅原 翔太(旭川)

他に単発企画としてオンラインを使った交流企画を行った。

・2024 年～2025 年度全日ろう連青年部中央委員は以下の通り。

推薦中央委員:清原 麻美

5. 女性部

(1)はじめに

女性部として、非会員の掘り起こしと元会員への呼びかけ、ネットワーク、パイプ作り、情報発信に力を入れて会員拡大に結びつけられるようにしていきたいと思っております。

今後の活動に向け、男性会員にも女性部活動の理解と協力を頂きながら、魅力ある女性部を目指して活動に取り組めます

(2) 第65回全道ろうあ者大会「女性のつどい」について

日 時:2024年9月7日(土)

講 師:河合祐三子 氏(俳優・手話講師)

テーマ:「手話と芸術を通して出会った縁」

(3) 第 40 回全道ろうあ女性交流会及び第 33 回研修会について

日 時:2024 年 9 月 21 日(土)～22 日(日)

講 師:伊藤喜幸氏(北海道聴覚障がい者情報センター 次長)

伊藤利恵子氏(後志ろうあ協会 事務局長)

テーマ:「きこえる子どもからみた、きこえない母について」

(4) 第 12 回(公)北海道ろうあ連盟女性部定期総会

日 時:2025 年 2 月 9 日(日)

会 場:道立道民活動センター(かでの 2.7)

出席者 : 10 名 委任 : 12 名

事業報告や事業方針、決算などを審議し承認と賛成をいただきました。議案として「全道ろうあ女性交流会参加費の値上げ」について理由を説明し、賛成をいただきました。役員改選を行い 2025 年度は 5 名の役員で活動することになりました。

【2025 年度～2026 年度女性部役員体制】

部 長:佐々木柄理子(千歳) 事務局長:福岡 静枝(札幌)

会計部長:新田 由香(札幌) 組織部長:渡辺 菜穂子(札幌)

監 事:杉本 洋子(石狩)

・一般財団法人 全日本ろうあ連盟女性部全国委員

佐々木柄理子(千歳)、福岡静枝(札幌)

・一般財団法人 全日本ろうあ連盟女性部常任委員

部 長:佐々木柄理子

(5) 女性委員会(13 回開催)

* 必要に応じて ZOOM 会議を開催しました。

6. 高齢部

(1) 第 65 回全道ろうあ者大会「高齢者のつどい」について

2024 年度の全道ろうあ者大会高齢者のつどいは「講演会」を行いました。

テーマ:手話を奪ったろう教育を批判し続けて

～私の研究活動を振り返って～

講 師:清野 茂氏(名寄市立大学名誉教授)

(2) 北海道ろうあ連盟高齢部規約の一部改正について

高齢部総会において規約の改正を提案し承認されていますが北海道ろうあ連盟の総会に報告をしていなかったため、今年度の総会に改めて提出済。

(附則)

＊第11条 会議の定足は、委任状を含む2分の1以上を持って成立する

第13条 この規約改正は、高齢部代議員総会の2分の1以上の賛成で採決し、さらに
北ろう連社員総会に承認しました。

北海道ろうあ連盟高齢部新役員(2024年4月～2026年3月)

部 長	鮎澤 正明(帯広)
副 部 長	菊地 文雄(旭川)
総務部長	菊地 文雄(旭川) 副部長兼務
総務部付	石井 章隆(旭川)
会計部長	高嶋 猛(札幌)
組織部長	杉本 五郎(石狩) 事業部長兼務

X 文化スポーツ推進事業

1. 文化スポーツ表彰・助成事業(文化スポーツ基金事業)

聴覚障害者の文化・スポーツ活動を振興するため、表彰・助成を行う。

文化・スポーツ委員会の開催

・①2024年4月27日(土)、②2025年2月15日(土)

選考メンバー 委員長：大内祥一

委 員：中 和彦、熊倉 晃、宮内博子、越智 誠、長谷和明
小山輝義、土師比佐夫
木村克己(文化)、伊勢谷郁生(スポーツ)

2024年度 文化スポーツ賞及び助成事業 該当者なし。

2. 全道ろうあ者夏季体育大会の開催

第56回全道ろうあ者夏季体育大会 in 千歳

日 時:2024年6月28日(金)～30日(日)

会 場:千歳市総合福祉センター 他

競 技:第49回ボウリング競技

第34回バドミントン競技

第22回パークゴルフ競技

第21回ソフトバレーボール競技

第9回フロアカーリング競技

参加者:143名

3. 荒木身体障害者スポーツ基金助成事業

荒木身体障害者スポーツ基金から助成を受けて、聴覚障害者のスポーツ行事を開催する。

「北海道デフキッズフットサル教室」

※北海道ろう者サッカー協会主催により開催

日 時:2024 年 11 月 30 日(土) 10:00～12:00

会 場:フットサルスタジアム蹴

参加者:25 名

XI全国会議・研修会への派遣・協力

1. 全国派遣

(1)第 12 回(通算第 75 回)全日本ろうあ連盟評議員会

日 時:2024 年 6 月 7 日(金)～9 日(土)

会 場:和歌山県和歌山市

出席者:北海道ろうあ連盟評議員 11 名出席(メンバーは P____参照)

(2)組織部

① 全国ブロック代表者会議

日 時:2024 年 6 月 7 日(金) 18:30～20:00

会 場:和歌山城ホール 1 階 展示室

内 容:全日本ろうあ連盟会員現状報告・47 都道府県協会意見交換会

出席者:越智評議員・小山評議員、大内評議員(オブザーバー)

(橋本組織部長は全日本ろうあ連盟組織委員会の立場で出席)

② 全国組織担当者会議

日 時:2024 年 10 月 3 日(木) 18:30～20:30

会 場:オンライン

参加数:4回に分けて開催(出席加盟団体は47)

内 容:1)新しい会員手帳について

2)会員拡大に向けて

3)日聴紙・季刊誌みみ拡大に向けて

出席者:橋本

③ 第34回全国専従職員研修会

日 時:2024年12月12日(木)～13日(金)

会 場:石川県加賀市

参加数:26 名

内 容:基調報告:「働きやすい職場環境を考える」・グループ討議

講師:山田 尚人氏(福島県聴覚障害者協会副会長)

出席者:橋本

④ 第2回マネジメント研修会

日 時:2024 年9月 12 日(木)～13 日(金)

会 場:葛飾シンフォニーヒルズ(東京都葛飾区)

内 容:講演・グループ討議

一日目 報告「旧優生保護法に関する説明」

講演「行政との交渉について」 講師:石橋大吾理事長

二日目 講演「災害時の対応について」 講師:藤平淳一組織委員長

参加数:69 名(47 都道府県中 36 加盟団体協会)

派遣者:中、橋本、佐々木(全日本ろうあ連盟組織委員会の立場で出席)

(3)福祉・労働対策部

① 第 37 回全国ろうあ者相談員研修会・第 28 回全国職業安定所手話協力員研修会等
兼ろうあ者労働問題フォーラム

日 時:2024 年 11 月 15 日(金)13:00～16 日(土)16:00

会 場:静岡県総合社会福祉会館 シズウエル(静岡県静岡市)

内 容:「チーム支援について」

講 師:市山 小織氏(公益社団法人大阪聴力障害者協会大阪ろうあ会館
労働グループワークライフ支援員)

出席者:金原福祉・労働対策部長

② 2024年度全国労働担当国会議(オンライン)

日 時:2025 年 1 月 21 日(火)19:00～21:10

内 容:労働局への交渉有無、手話協力員とろうあ団体の関係について報告・意見交換
をした。手話協力員との関係を強くし、課題(チーム支援)の掘り起こしや解決に
取り組む運動的視点が大切である。

出席者:金原福祉・労働対策部長、福島福祉・労働対策部付

(4)情報・コミュニケーション部

①第 57 回全国手話通訳問題研究集会サマーフォーラム In かごしま

日 時:2024 年 8 月 23 日(金)～25 日(日)

会 場:宝山ホール・鹿児島大会教育学部

内 容:8/23(金)開会式

① 特別報告 ①「東京 2025 デフリンピック」

②「令和 6 年の能登半島地震報告」

②「特別講演「意思疎通支援の現状と障害福祉に関する動向」

③記念講演「「見て！感じれ！鹿児島島の歴史と文化」 講師:東川隆太郎氏

8/24(土)～25(日)講座・分科会

C講座「人権・福祉」

I「大崎事件を知り、そこから学ぶ」

II「国立療養星塚敬愛園～ハンセン病問題から学ぶこと」

III「誰一人取り残さない^いないものを作り上げる」

IV「今は生きる未来を生きる」

参加者：高嶋情報・コミュニケーション部長

②全国ブロック代表者会議は実施されませんでした。。

(5)教育・文化対策部

①「NPO ろう教育を考える全国協議会」総会

日 時：2024 年 7 月 26 日（金）

会 場：滋賀県立男女共同参画センター

出席者：小山教育文化対策部付理事

※連盟は団体会員として加盟しています。

②第 34 回ろう教育を考える全国討論集会 in しが

日 時：2024 年 7 月 26 日（金）～28 日（日）

会 場：滋賀県立男女共同参画センター

内 容：大会では、「誰一人取り残さない」ろう教育の実現と支援の輪という主なテーマで教育・支援をどのように展開していくのか。現状や課題、それぞれの立場で語り合った。

出席者：小山教育文化対策部付理事

③2024 年度インクルーシブ教育に関する加盟団体との意見交換会

日 時：2025 年 1 月 30 日（木）18:30～20:30

会 場：オンライン

内 容：障害者権利条約に規定されたのは、学校教育において障害者の有無に関わらず同じ場で一緒に学ぶ、インクルーシブ教育の実現を目指すという転換期を迎えている。ろう学校では、ろう児の言語環境やアイデンティティにどのような影響を与えているのか等の意見交換を行った。その意見を踏まえて、6 月の全日本ろうあ連盟評議員会（岩手）で見解について提案すると話があった。

出席者：越智教育・文化対策部長、小山教育・文化対策部付理事、佐々木女性部長

④全国ろう教育文化担当者会議

日 時：2025 年 2 月 7 日（金）18:30～20:30

会 場：オンライン

内 容：ろう者による文化活動に関する情報交換できる機会を設けてから今年で 2 度目。文化活動について各地から報告し、差別を受けたり課題について意見交換を行った。ろう協会の中に文化担当の役員を配置していない県がいくつかあった。その必要性を改めて共有した。

出席者:越智教育・文化対策部長、小山教育・文化対策部付理事

(6)機関紙部

2024 年全日本ろうあ連盟機関紙学校は連盟理事会と重なったため、参加できませんでした。

(7)青年部

①第13回東日本幹部研修会in長野

日 時:2024年12月15日(土)～16(日)

会 場:長野県松本市

参加者:4名(すべて寄付)

②第43回全国ろうあ青年部活動者会議in福岡

日 時:2024年7月27日(土)～28日(日)

会 場:福岡県福岡市

参加者数:7名(うち寄付4名)

③第58回全国ろうあ青年研究討論会in福島

日 時:2024 年 11 月 3 日(金・祝)～5日(日)

会 場:福島県福島市

参加者:7名(うち寄付2名)

(8)女性部

①第 54 回全国ろうあ女性集会 in 岡山

日 程:2024 年 10 月 18 日(金)～20 日(日)

会 場:岡山県倉敷市

内 容:記念講演「アジアろう女性の現状と課題、これからの取り組みについて」

講師 中西 久美子 氏

(一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長、

一般社団法人滋賀県ろうあ協会 副会長)

参加者:10 名(北海道からの参加者)

②第 49 回全国委員会&第 51 回女性研修会

日 程:2025 年 2 月 2 日(日)

会 場:広島県広島市

内 容:講演① 被爆体験

講師 切明 千枝子 氏(きりあけ ちえこ)被爆体験証言者

講演②「西日本豪雨ボランティア」

講師 横村 恭子 氏(よこむら きょうこ)

参加者:2 名(北海道からの参加者)

(9) 高齢部

①第36回全国ろうあ高齢者大会 in 富山県

付帯行事: 第 38 回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会

第 15 回全国ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会

日時: 2024年9月26日～29日

会場: 富山県富山市

参加者: 562 名

全日本ろうあ連盟高齢部代議員会 鮎澤出席

視察団は次年度大会開催地として旭川ろうあ協会職員、高齢部役員ら7名参加した。

②第16回全国ろうあ高齢部代表研修会第2回全国代議員会

日時: 2025年2月12日(水)～14日(金)

会場: 岐阜県美濃加茂市

参加者: 鮎澤 (川口欠席)

XII 法人関係事業

1. 総会・理事会・委員会・会議等の開催

(1) 社員総会開催

「第 12 回定時社員総会」

日 時: 2024 年 6 月 2 日(日)

会 場: 道立道民活動センター 大会議室

代議員数 99 名 総会出席数: 出席 76 名、委任 21 名、無効 2 名

役職構成

役職名	氏 名	担 当	全日ろう連
理事長	大内 祥一	文化・スポーツ基金、四団体懇談会 聴覚障がい者情報センター運営委員会	評議員
副理事長	渋谷 雄幸	四団体懇談会 聴覚障がい者情報センター運営委員	評議員 情報・コミ委員
副理事長	橋本 由美	組織部長、四団体懇談会 聴覚障がい者情報センター運営委員	監 事
常務理事	中 和彦	事務局長、文化・スポーツ基金、四団体懇談会 聴覚障がい者情報センター運営委員	評議員
理 事	京野 大樹	会計部長	評議員
理 事	金原 浩之	福祉・労働対策部長 聴覚障害者情報センター運営委員	評議員

理 事	高嶋 正博	情報・コミュニケーション部長 聴覚障害者情報センター運営委員	理 事
理 事	宮内 博子	機関紙部長、文化・スポーツ基金、 聴覚障がい者情報センター施設長・運営委員	評議員
理 事	越智 誠	教育・文化対策部長、文化・スポーツ基金	評議員
理 事	熊倉 晃	スポーツ部長、文化・スポーツ基金	
理 事	長谷 和明	青年部長、文化・スポーツ基金	
理 事	佐々木柄理子	女性部長、聴覚障害者情報センター運営委員	理事(女性部長)
理 事	鮎澤 正明	高齢部長	
理 事	工藤 努	組織部付	
理 事	野原 伸也	組織部付	
理 事	福島 太郎	福祉・労働対策部付	評議員
理 事	中川 雅敏	情報・コミュニケーション部付	
理 事	小山 輝義	教育・文化対策部付、文化・スポーツ基金	評議員
監 事	東出 昇		
監 事	土師比佐夫	文化・スポーツ基金	評議員

(2)理事会

①理事会開催

	月 日	会 場
第1回	4月 27 日(土)・28 日(日)	道立道民活動センター(かでの 2.7)
第2回	6 月 1 日(土)	道立道民活動センター(かでの 2.7)
第3回	9 月 6 日(金)	室蘭市「室ガス文化センター」
第4回	11 月 23 日(土)・24 日(日)	道立道民活動センター(かでの 2.7)
第5回	2025 年 2 月 15 日(土)・16 日(日)	道立道民活動センター(かでの 2.7)

※理事:18名 監事:2名

②理事会出欠表

	第1回		第2回	第 3 回	第4回		第5回	
	4 月 27 日・28 日		6 月 1 日	9 月 6 日	11 月 23 日・24 日		2 月 15 日・16 日	
大 内 祥 一	○	○	○	○	○	○	○	○

渋谷 雄幸	○	○	○	○	○	○	○	○
橋本 由美	○	○	○	○	○	○	○	○
中 和彦	○	○	○	○	○	○	○	○
京野 大樹	○	○	○	○	○	○	○	○
金原 浩之	○	○	○	○	○	○	○	○
高嶋 正博	○	○	△	○	○	○	○	○
宮内 博子	○	○	○	○	○	○	○	○
越智 誠	○	○	○	○	○	○	○	○
熊倉 晃	○	○	欠	○	○	○	欠	欠
長谷 和明	○	○	欠	○	○	○	○	○
佐々木柄理子	○	○	○	○	○	○	○	○
川口 豊	○	○	○					
鮎澤 正明				○	○	○	○	○
工藤 努	△	○	○	△	○	○	○	○
野原 伸也	欠	欠	○	○	欠	欠	欠	欠
福島 太郎	○	○	○	○	○	○	○	○
中川 雅敏	○	○	○	○	○	○	○	○
小山 輝義	○	○	○	○	欠	○	○	○
東出 昇	○	○	○	○	○	○	○	○
土師 比佐夫	○	○	○	○	○	○	○	○
出席	19	19	18	20	18	19	18	18
欠席	1	1	2	20	2	1	2	2

※欠は欠席 △は遅刻

(3) 三役会議の開催

1	2024年4月26日(金)	対面	7	2024年9月6日(金)	対面
2	2024年5月24日(金)	対面	8	2024年10月4日(金)	オンライン
3	2024年6月1日(土)	対面	9	2024年11月22日(金)	対面
4	2024年6月27日(木)	オンライン	10	2025年1月24日(金)	オンライン
5	2024年7月19日(金)	オンライン	11	2025年2月14日(金)	対面
6	2024年8月23日(金)	オンライン	12	2025年3月21日(金)	オンライン

(4) 四団体懇談会の開催

①開催日

回	日時		会場	出席人数
第1回	4月27日(土)	10:00～12:00	道立道民活動センター(かでの2.7)	13名
第2回	11月23日(土)	13:00～15:00	道立道民活動センター(かでの2.7)	10名
第3回	2025年2月15日(土)	10:00～12:00	道立道民活動センター(かでの2.7)	13名

②構成団体

団体名	構成数	構成メンバー
(公社)北海道ろうあ連盟	4 名	大内祥一、渋谷雄幸、橋本由美、中和彦
北海道手話サークル連絡協議会	2 名	船橋浩、尾形直樹、他役員
北海道手話通訳問題研究会	2 名	渋谷梯子、板谷こずえ、他役員
北海道手話通訳士協会	2 名	松井宏幸、山田幸雄

2.人事(採用・異動・退職)

法人事務局

田中 小百合 2024 年 5 月 10 日退職

石井 恵 2024 年 8 月 1 日採用

中野 沙央里 2024 年 11 月 30 日退職